

令和6年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業 自治協議会委員からの提案一覧

提案者	地域課題	提案・アイデア	担当課	区の方針	区分
1 清水 (文) 委員	少子高齢化がますます進行する中、区の強みである「自然環境の魅力」をより効果的に発信して交流人口拡大を図ることが、現実的と考える。 それには、大学生や若者(中学生も)の発想を取り入れるなど、大胆で、スピード感をもって取り組むことを期待する。	観光資源に直結する「海辺の森 賑わい創出」に資する事業・活動 例)効果的な案内看板の拡充、様々な広報宣伝活動の強化、アクセス道路整備等々	産業振興課	これまで多くの要望をいただいていた第2展望塔のトイレが設置できることになりました。「海辺の森」は保安林になっているため制限はありますが、若者の意見も取り入れて、交流人口の拡大に取り組んでいきます。	R6 区づくり事業 (No2) に反映
2 福祉教 育部会	新潟市は脳血管疾患による死亡率が高い。北区は他の区に比べて特に脳内出血の死亡率が高い。 予防には生活習慣の改善と定期的な健診が重要だが健診の受診率は低い。	地域の茶の間を活用した健康講話・相談会(大学生も一緒に) ※講話・相談会の内容 目に見える形の体験をしてもらう(血管年齢測定) 1日の各家庭の味噌の量を計り、それが脳梗塞につながる確率を数値で示す。高齢になる前に若い世代へ働きかけ。	健康福祉課	北区の健康課題に対しては、地区組織と連携し、以下の取り組みを継続していきます。 ① 生活習慣病予防教室「血管げんき塾」をコミュニティ協議会と連携して開催。尿中塩分測定・栄養講話・運動の実践等、様々なメニュー体験し、生活の振り返りを実施。 ② 各コミュニティ協議会や地域の茶の間などで、左記の健康課題の共有や健診の受診勧奨、健康講話を実施。 ③ 健康相談会で希望者の味噌汁塩分測定。 ④ その他、個別の健診の受診勧奨 など 若い世代への働きかけは、養護教諭と連携し学校を通じて、生徒やその保護者へメッセージを発信しています。	現行事業で実施
3 佐久間 委員	若年妊娠・性被害・性加害・高齢出産・不妊症など性に関する問題が年齢を問わず増加している。 思春期の頃(早い時期)から正しい知識を身につけることで回避できる問題もある。性教育を人権教育と捉え、自分自身を守るため、また他者を大切にする気持ちを高めるための取り組みが必要と考える。	<思春期の心と体の健康教育> 中学・高校で助産師などの専門職による性教育や、命の安全教育を行い、相手を思いやる気持ちを育んだり、生命の大切さや自他を大切にする気持ちを高めていく。 <双胎支援事業> 双子の妊婦・産婦の交流の場を設け、ピアサポートの充実を図る。	健康福祉課	健康福祉課では、中学・高校の養護教諭と地区担当保健師が連携し、思春期健康教育「いのちの大切さ」について、共同で取り組んでおります。また毎年、中学・高校の養護教諭と情報交換会を実施し、各校の取り組みも把握する機会がございます。専門職による性教育の重要性は十分認識しておりますので、今後、各学校とも思春期健康教育の内容についても検討して参ります。	
4 菊地 委員	北区になってから20年近くになるが、未だに旧新潟市の北地区と豊栄地区の一体感がなく、交流も一部しかない。これからの北区の発展を考えると活発な活動を通しての交流が必要。	文化芸能を通しての交流。松浜地区には松浜盆踊り太鼓保存会や松浜太鼓があり、岡方地区も神楽が盛ん。 地域で活動している芸能に上限20万円の予算を計上し、北区芸能祭を開催し交流を図る。	北区郷土博物館	平成19年度から郷土博物館を会場にして北地区、豊栄地区を合わせた北区内の郷土芸能保存団体が一堂に会した郷土芸能発表会を毎年開催しています。 令和5年度から7年度まで行う特色ある区づくり事業「北区郷土博物館地域魅力発信事業」において、「(仮称)北区郷土芸能の祭典」を令和6年度に行う予定。北地区、豊栄地区の各郷土芸能保存団体と打ち合わせを進めています。	R6 区づくり事業 (No9) に反映
5 菊地 委員	松浜海岸自然環境保全と水辺環境魅力発信事業は期間が長期化して区づくり予算が限定され他の案が提案できない状況。国県の直轄事業にできないか。 北区は他区より人口減少が顕著。対策を講じないと少子高齢化が進み、空き家問題が増加。	松浜は新潟都心部から10km圏であるため通勤圏として北3地区を、新崎駅をハブ駅として新潟・豊栄につなぐ公共交通手段を整備する。 コミュニティと行政が協働で空き家のシェアハウスを検討。学生に無償または安価で賃借する。その代わりに若者の発想や専門的な知見を活かしまちの活性化につながる提案や活動を支援する。	地域総務課 産業振興課	現在新崎駅、豊栄駅、新潟駅を結ぶ鉄道以外の公共交通は、新潟交通バス(大形線)、おらっのバスがあります。必要であれば、地域の声を聴きながら、引き続き利便性の向上に向け取り組んでまいります。 <空き家問題>松浜地区、葛塚地区で空き家を活用したリノベーションプロジェクトを実施。その中で若者、コミュニティ等と協働で空き家を活用したまちの活性化に取り組んでいます。	空き家関係:R6 区づくり事業 (No4) に反映

令和6年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業 自治協議会委員からの提案一覧

6	菊地委員	<p>就職先が少なく若い人材が地域から離れていく。 学生向けの衣料品等の店がない。 観光スポットがない。 児童館がない。 駐車場が少ない。</p>	<p>空き店舗を活用して働ける環境をつくる。 マーケットシティや道の駅の設置。 イベントの開催、SNSを活用し町のアピールを行う。ゆるキャラの検討。 移住してきた方に補助金。 浜の釣り場(南浜船どまり付近)に駐車場の整備。</p>	<p>産業振興課</p> <p>空き店舗利用⇒ R5年度から、商店街の空き家を活用し、地域活性化の拠点として整備する産学官リノベ事業をスタートしました。その事業の中で起業を目指した、民間主体の取組みを進めています。 マーケットシティ、道の駅設置⇒民間開発による部分や区づくり予算に見合わない規模と考えられるため、予算化は見送ります。 SNS発信⇒北区産業振興課においては、R5年度より新潟医療福祉大学の学生に協力していただき、北区の魅力をInstagramで発信する事業(北区情報発信事業)を展開中です。 北区地域総務課においては、オニバスマン、ござはなちゃんのFacebookにより北区の情報を発信中です。 ゆるキャラ⇒クイクイ等があり、広報において活用しています。今後も、積極的に活用しPRしていきます。 移住してきた方への補助金⇒新潟市として住まい、仕事、子育て等の支援を実施しており、徐々に支援の範囲を拡大しています(移住元の要件を東京都⇒東京、名古屋、大阪圏内に拡大)。【雇用・新潟暮らし推進課】 浜の釣り場の駐車場整備⇒島見浜近隣の駐車場として、「海辺の森」には公園利用者のための駐車場が整備されていますが、保安林に指定されているため釣り人のための拡張はできません。 なお、南浜船溜まりは釣りが禁止されています。</p>	<p>空き家関係：R6区づくり事業(No4)に反映 SNS等での情報発信：R6区づくり事業(No6)に反映 移住補助：新潟市移住支援事業で実施</p>
---	------	---	---	---	--

令和6年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業 自治協議会委員からの提案一覧

7	小熊委員	<p>▼少子高齢化と若者の減少。高齢者の親と独身の息子の同居が多い。</p> <p>▼介護保険を本人が拒否して使わない→家族への負担大→虐待につながるケースあり。</p>	<p>お見合いパーティ。 空き家をリノベーションして安価で貸し出す。 企業誘致(北区だけの問題ではないが) 南浜船溜まりの販売をもっと大々的にやる。野菜やスイーツなどの店も参加できるようにする。 地元食材のアピール。 道の駅全国1号店をもっとアピールし、パーキングに降りてもらえるよう自治協議会でも考えていく。</p>	産業振興課 地域総務課	<p>お見合い:新潟市では、お見合いパーティを主催することは難しいですが、「婚活支援ネットワーク」を構築し、婚活イベント等へのサポートを行っています。地域団体、経済団体、一般企業等を対象とし、イベントの補助、広報協力、ボランティア派遣など行っています。</p> <p>空き家リノベーション⇒⇒R5 年度から産学官リノベ事業では、地域の拠点として空き店舗を活用し、地域活性化の拠点として整備する産学官リノベ事業をスタートしました。</p> <p>葛塚地域では、民間によってリノベーションが進められており、11月以降ブース等を供用する事業がはじまる予定です。</p> <p>松浜地域では、空き店舗等を題材にしたワークショップを開催し、起業を目指した、民間主体の取組みを進めています。</p> <p>企業誘致⇒本庁の企業誘致課、産業政策課等が主に取り組んでいます。区では中小企業への設備補助等の融資や、DX推進に向けた支援などの窓口として携わっています。引き続き本庁の企業誘致課とともに取り組んでいきます。</p> <p>南浜船溜まりの販売の拡充⇒主催者である漁協にお伝えしたところ、組合員の意見を聞きながら決めているとのことでした。区づくり予算で進めている「海辺の森」の交流拡大事業との連携も進んでおり、ミニ朝市にクラフト体験で出店するなど交流も進んでいるため、主催者である漁協の取組みを尊重しながら、連携した南浜の賑わい創出に取り組んでいきます。</p> <p>地元食材アピール⇒県下一の出荷量を誇るトマト産地である北区。産地活性化のため R6 区づくり事業により新たに公民連携で事業展開していく予定のほか、既存事業である北区農業振興協議会においても、北区産農産物の地産地消の取組みを引き続き支援していきます。</p>	<p>お見合い:既存事業(子ども政策課)</p> <p>空き家関係: R6 区づくり事業 (No4) に反映</p> <p>地元食材アピール: R6 区づくり事業 (No7) に反映</p>
8	前田委員	<p>北区の防災対策の現状はどうなっているのかを可能な限り明確にし、問題があれば、自治協議会として是正策を提言する。 関係当局(市・県・国)からの説明会や現地視察研修会等を実施し、これを基に区づくり事業計画を策定すること。</p>	<p>(1)防災対策研修・現地視察 〈北区の洪水対策〉 阿賀野川・福島潟・加治川等各河川の氾濫及び津波に対する市・県・国の防災対策の現状と課題について、北区民を対象に説明会を開催。現状の視察研修会の開催。 〈洪水ハザードマップの説明会〉 製作過程の説明と利用方法について、北区民を対象に開催。洪水時水位変動シミュレーションと垂直避難の有効性について地番ごとに説明。参加住民と意見交換に配慮すること。</p> <p>(2)避難所の施設整備体制・避難所運営体制の研修会等開催 ▼施設容量・収容人数・備蓄品の保管状況・保管施設の整備状況 ▼避難所運営体制が進まない現状と対策(自治協議会で事前に論点を精査すること)</p>	建設課 地域総務課	<p>防災事業は全市に関わる事業のため、本庁での検討(予算化)対象事業となっています。</p> <p>提案されたもののうち避難所運営体制については、現在、区個別算定予算として事業化しており、今後も継続実施する予定であることや、自治協地域づくり部会で令和6年度に防災をテーマにした事業を検討中であることを提案者に説明し、「特色ある区づくり事業」では取り扱えないことで了承を得ています。</p> <p>なお、国・県へ阿賀野川・福島潟の治水対策事業について、自治協地域づくり部会での説明を依頼する予定です。</p>	<p>避難所運営体制:個別算定予算事業 (No14) で実施</p> <p>その他:地域づくり部会で検討・実施予定</p>